

義太夫の会



藤間 晃妃

義太夫

八段目道行(上)

仮名手本忠臣蔵の八段目にあたる演目。加古川本蔵の後妻・戸無瀬と娘・小浪は大石由良之助の子息・許嫁の力弥の元へ、二人きりで山科へと東海道を下る様子を見せる所作事(舞踊劇)です。途中、街道の向こうに嫁入り行列を目にし、本来なら華々しく嫁ぐはずだった小浪の沈む心を戸無瀬は優しく思いやります。東海道の名所が織り込まれ旅情を誘う義太夫にのせて、母と娘の情愛と華やかさの中に悲哀を描く一幕をお楽しみください。

藤間晃妃振付

大和楽

花吹雪

桜の花が満開の中、お茶のお稽古帰りの娘が二人。小説のような恋に憧れる娘、初恋の淡く切ない想いを持って余す様子。目が合うと笑顔がこぼれ、ウキウキすると踊り出す…。娘たちの「まだ咲き初めの美しさ、可愛らしさ」が溢れます。これまで学んできた古典を土台に、この度振り付けました。

長唄

蜘蛛の拍子舞

本名題は「我背子恋の合榎わがせここのあいづち」。葛城山に住まう女郎蜘蛛は妻菊に扮し、源頼光と家臣四天王の碓井貞光が逗留する京・花山院御所に現れます。色仕掛けで頼光に近寄り、名刀・膝丸を奪おうとするも、刀の威徳により本性が顕われた蜘蛛の精は、眷属(一族)の恨みをまとい、千筋の糸を投げて死闘の大立ち回りとなります。

2025年3月20日(木・祝)

第一部 11:00 開演 (10:30 開場)

第二部 13:00 開演

大阪国立文楽劇場
大ホール

大阪市中央区日本橋1丁目12-10

入場料 6,000円 (1部、2部通し・全席自由席)



花柳 知香之祥



〈友情出演〉
藤間 勘須和



〈特別出演〉
藤間 勘祐悟



〈特別出演〉
藤間 京晃



〈特別出演〉
藤間 莉佳子

[チケットの申込み・お問合せ]

日本舞踊教室 藤の妃会

kayokouki@mac.com

TEL. 078-413-8524



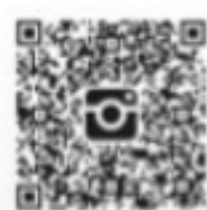
お問合せ
チケット申込み



藤の妃会
ホームページ



[演目解説]
藤の妃会
YouTube



[最新情報]
藤間晃妃
Instagram



関西元気文化圏
参加事業

【国立文楽劇場へのアクセス】

OsakaMetro(堺筋線・千日前線)

「日本橋」駅、近鉄奈良線「近鉄日本橋」駅 下車

⑦号出口より徒歩1分

エレベーターご利用のお客様は⑩号出口エレベーターをご利用ください。

※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

